公認卓球コーチ3
資格概要

2026年5月25日現在

主催			公益財団法人日本スポーツ協会 公益財団法人日本卓球協会
養成目的			競技者育成プログラムに基づき、全国レベルの競技者の育成・指導にあたるとともに、コーチ3までの養成講習会の講師等を務めることができる指導者を養成する。
役割			各カテゴリーのトップチームのコーチングスタッフとして、ブロック及び全国大会レベルのプレーヤー・チームに対して競技力向上を目的としたコーチングを行う。
養成講習会に係る内容	受講条件		(公財)日本卓球協会登録会員であり、受講年度の4月1日現在満22歳以上で、次の①～④何れかの条件を満たす者 ①原則として、コーチ1取得後3年以上の指導実践のある者、又はコーチ2を取得済みの者で、都道府県協会(連盟)会長が推薦する者 ②国民スポーツ大会監督を務めるに足る指導力と経験を有し、都道府県協会(連盟)会長が特に推薦する者 ③過去10年以内に日本代表として国際大会に出場した選手・指導者で都道府県協会(連盟)会長が特に推薦する者 ④日本卓球協会強化本部が特に推薦する者(※年齢要件緩和を含む) (実技科目の免除条件については別途定める)
	受講科目	共通科目	共通科目Ⅲ(150h)
		専門科目	専門科目コーチ3(60h)　※別紙カリキュラム表参照
	受講料	共通科目	共通科目Ⅲ:22,000円(税込) ※別途リファレンスブック代
		専門科目	受講料:15,400円(税込)　※実施団体が別途定める場合がある。 テキスト代:卓球コーチング教本改訂版 3,080円(税込)
	実施方法	共通科目	別に定める共通科目実施要領に基づき日本スポーツ協会が実施する
		専門科目	■講習会 集合講習40h、その他20hとし、日本卓球協会が実施する。 ※その他(20h)について ①事前・事後学習については、所定のレポートを提出 ②体験実習については、国民スポーツ関係大会(都道府県内の国体選手選考会を兼ねた大会、ブロック大会、本国体も可)運営又は見学。体験後、所定のレポートを作成。提出方法は要項参照 ■検定試験 技能検定、レポート、筆記試験を加えた総合判定 ■審査 日本卓球協会指導者養成員会において審査する。 ■免除要件 免除規程を別に定める。
			基本登録料:デジタル版(13,000円)、印刷送付版(17,000円)
登録に係る内容	登録料 (4年間)		資格別登録料:10,000円
			初期登録手数料(初回登録時のみ):3,300円
	更新登録要件		(公財)日本卓球協会登録会員であり、資格有効期限の6か月前までに、最低1回は、日本卓球協会が定める研修又は日本スポーツ協会(都道府県スポーツ協会が実施する研修会を含む)が実施する(認める)研修を受けなければならない。
特記事項			

公認卓球コーチ3

2026年5月25日現在

区分	カリキュラム内容		時間数		
	No.	科目	集合	その他	計
① 基礎理論	①	卓球界の国際的動向と最新情報	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	②	卓球競技の歴史的発展論	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	③	海外遠征の心得（渡航術・ホテルマネジメント・コロナ対策・海外マナー）	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	④	卓球選手のための栄養学	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	⑤	対象に応じた指導内容と技術指導	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	⑥	科学的分析のコーチングへの応用	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	⑦	卓球競技における安全対策	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	⑧	ルール・審判法	3.00 h	0.00 h	3.00 h
	⑨	卓球競技におけるメンタルトレーニング	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	⑩	スポーツビジョントレーニング	0.50 h	0.00 h	0.50 h
	⑪	コーディネーション・トレーニング	0.50 h	0.00 h	0.50 h
	⑫	指導環境におけるハラスメント対策	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	⑬	スポーツインテグリティ・コンプライアンスの確保	2.00 h	1.00 h	3.00 h
	⑭	フェアプレイとスポーツマンシップ	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	⑮	コーチから選手への言葉かけ	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	小　計		21.00 h	2.00 h	23.00 h
② 卓球技術	①	卓球競技のための専門的体力トレーニング	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	②	応用技術1	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	③	応用技術2	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	④	多球練習（上級者）	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	⑤	練習効果のための評価（上級者のための）	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	⑥	スポーツマッサージ	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	小　計		10.00 h	0.00 h	10.00 h
③ 指導演習	①	個人指導	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	②	集団指導	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	③	対象に応じた指導方法（男女ナショナルチーム報告含む）	2.00 h	1.00 h	3.00 h
	④	指導計画の企画立案(集団・個人・短期・長期)	2.00 h	2.00 h	4.00 h
	⑤	ベンチコーチの実際	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	⑥	卓球コーチ養成講習会の企画・立案・留意点	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	⑦	障がい者への指導	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	小　計		9.00 h	8.00 h	17.00 h
④ 体験実習	①	国民スポーツ大会(ブロック大会・県予選会含む)の実際	0.00 h	10.00 h	10.00 h
		※国民スポーツ大会関係大会(県予選会・ブロック・本大会)に出向いて運営又は見学を行い、レポートを提出			
	小　計		0.00 h	10.00 h	10.00 h
			40.00 h	20.00 h	60.00 h